

SPORT



調布市 スポーツ 推進計画



概要版



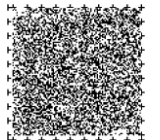
2024



2030



CHOFU



計画策定の趣旨

- ラグビーワールドカップ2019™日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会といった世界最大級のスポーツイベントの開催を契機に、多様な主体と連携しながら、有形・無形のレガシー創出を目指し、これまで様々な取組を展開してきました。
- 市内の味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザを含むエリアは、多摩地域の一大スポーツ拠点となっており、市内を活動拠点とするFC東京をはじめとしたトップスポーツチーム等とのパートナーシップを強化しながら、豊富なスポーツ資源を生かしたまちづくりを進めています。
- 本スポーツ推進計画は、こうした背景を踏まえ、市のスポーツを取り巻く現状と課題を整理し、豊富なスポーツ資源を活用しつつ、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の視点から、スポーツ推進に向けた方針や施策を体系化するものです。

計画の位置付け

- 本計画は、スポーツ基本法第10条における「地方スポーツ推進計画」として位置付け、調布市総合計画を上位計画とした、本市におけるスポーツ推進の基本となる計画です。



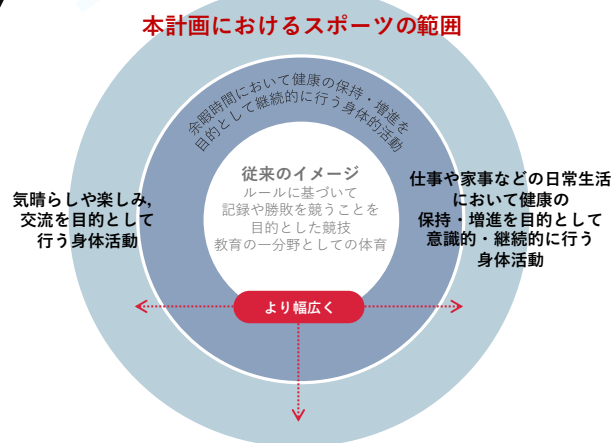
計画の期間

- 本計画は、調布市基本計画の計画期間と合わせ、令和6（2024）年度から令和12（2030）年度までの7年間とします。



計画が対象とするスポーツの範囲

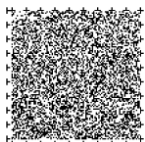
- 本計画では、野球やサッカー、ラグビーなどの競技種目やレクリエーション活動のほか、健康のための散歩や体操などの軽い運動、さらに徒歩や自転車による通勤や買い物などの日常生活における活動など、意識的・継続的に行う様々な身体活動のことを「スポーツ」として幅広く捉え、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に親しんでいただくことを目指します。



スポーツの力

- スポーツを行うことによる感動や達成感など、Well-beingにもつながる
「スポーツそのものが有する価値」
- 市民の健康増進、人と人とのつながりの強化、地域経済の活性化など
「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」

『スポーツの力』を全ての市民が享受できるようスポーツ振興に取り組みます。



スポーツを取り巻く社会情勢の変化



市のスポーツに関する現況・特徴

- スポーツをする場 -

公共スポーツ施設

市内には、屋内・屋外の様々な公共スポーツ施設があり、抽選倍率では土日祝日が高く、使用率は体育室やテニスコートが高い傾向になっています。

学校施設

社会教育の振興、普及を進めながら、市民文化の振興及び健康の増進を図ることを目的に、学校施設の開放を行っています。

- スポーツを支える担い手 -

スポーツ推進委員

地域に根差したスポーツ振興のコーディネーター

調布市スポーツ協会

市のスポーツ振興のための様々な取組を推進する組織

総合型地域スポーツクラブ

(調和SHC倶楽部)

子どもからお年寄りまで気軽にスポーツを楽しめる拠り所

スポーツボランティア

市内のスポーツイベント等の運営を支える存在

- スポーツによるにぎわいの創出 -

トップスポーツチーム等との連携

FC東京/東芝ブレイブルーパス東京/東京サントリーサンゴリアス/読売巨人軍/NTT東日本バドミントン部 等

多摩地域の一大スポーツ拠点

市の西部には味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザ、調布基地跡地運動広場があり、多摩地域の一大スポーツ拠点を形成

大型スポーツイベントの開催

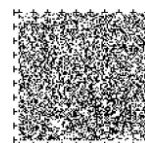
ラグビーワールドカップ2019/東京2020大会/サッカーJリーグ/ラグビーリーグワン/国際・国内スポーツ大会/ 等

計画策定の視点

- 世界最大級のスポーツイベントの開催を契機としたスポーツ機運の高まりを生かしたスポーツ振興
- スポーツを通じた共生社会の充実
- トップスポーツチーム等多様な主体との連携

パラハート
ちょうふ

つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち



生涯にわたって 誰もがスポーツに親しみ 生き生きと過ごせるまち ースポーツを通じた共生社会の充実ー

- 年齢や障害の有無等を問わず、広く市民がスポーツに親しみ、楽しめる環境を整備します。また、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会のレガシーを継承・発展させ、スポーツを通して市民の交流が盛んになるまちを目指します。
- 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」の理念に基づき、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむことができる機会を創出するとともに、市民ニーズを踏まえたスポーツ施設の利用環境の向上、安全で快適な市民のスポーツ環境の整備などを推進します。
- 東京2020大会を契機とした共生社会への理解・関心の高まりを捉え、誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受し、様々な立場・状況の人とともにスポーツを楽しめる環境を充実させることで、スポーツを通じた、共生社会の一層の充実を図ります。

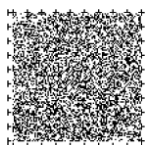


豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言

私たちのまち調布市は、世界的な音楽家や技術者を輩出する大学の立地、映画・映像を制作する企業や、国際的なスポーツ競技施設の集積などの特性を有し、誰もが、生涯を通じて、音楽・演劇をはじめ、映画・美術・伝統芸能・スポーツなど、さまざまな活動を楽しむことができます。

私たちは、この恵まれた環境を活かしながら、子どもから大人まで、女性も男性も、そして障害の有無にかかわらず、全ての市民が、それぞれに応じた活動を通して、豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくりに取り組んでいくことをここに宣言します。

平成27年11月8日 調布市



豊かな
芸術文化・スポーツ活動を
育むまちづくり宣言

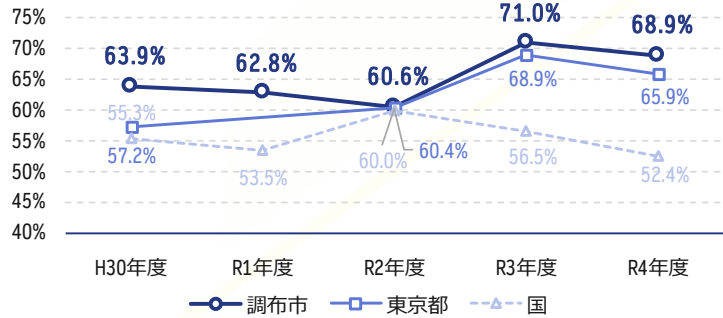
基本目標

基本目標 1

スポーツ活動の推進



週1回以上スポーツをする人の割合の推移



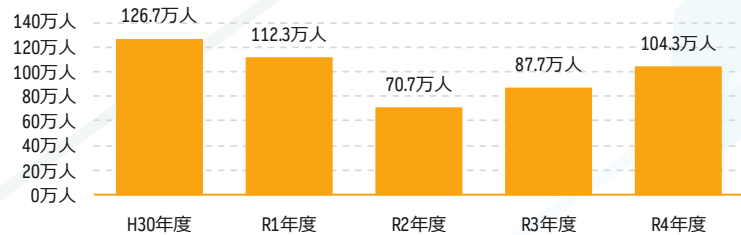
より多くの市民が生涯を通してスポーツに親しむことができるよう、それぞれの年齢や体力等に応じ、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図り、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむことができる取組を推進します。

基本目標 2

スポーツ環境の充実



市スポーツ施設利用者数（学校施設開放含む）の推移



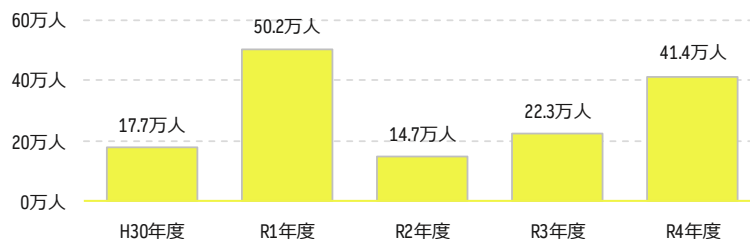
市民が安全で快適にスポーツ施設を利用できるよう、計画的な維持保全・改修を行うとともに、誰もがスポーツに取り組むための場の確保・充実や、地域スポーツ指導者の育成・支援などにより、スポーツ環境の充実を図ります。

基本目標 3

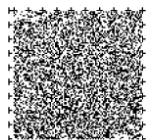
スポーツ資源を活用したにぎわいの創出・交流の促進



スポーツイベント等における交流人口の推移



世界的なスポーツイベントの開催等を契機に、スポーツを活用した地域振興等への期待が高まっているなかで、トップスポーツチームや、味の素スタジアム・武蔵野の森総合スポーツプラザといった多摩地域の一大スポーツ拠点など豊富なスポーツ資源を活かし、スポーツを核としたまちのにぎわい創出を図るとともに、スポーツを通して市民の交流を促進します。



生涯にわたって誰もがスポーツに親しみ生き生きと過ごせるまち
↳スポーツを通じた共生社会の充実↳



1

スポーツ活動の推進

成果指標：週1回以上スポーツをする市民の割合

現状値（R4年度）

目標値（R12年度）

68.9%



70.0%



2

スポーツ環境の充実

成果指標：市スポーツ施設利用者数※3

現状値（R4年度）

目標値（R12年度）

104.3万人



130万人



3

スポーツ資源を活用した にぎわいの創出・交流の促進

成果指標：スポーツイベント等における交流人口

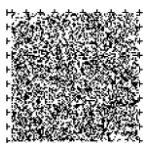
現状値（R4年度）

目標値（R12年度）

41.4万人



50万人

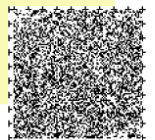


※3 学校施設開放含む

基本施策

主な取組

1-1 スポーツをはじめる機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様なスポーツイベントの開催 ● 健康の維持増進のための取組の実施 ● トップスポーツチーム等と連携した学校訪問等の実施
1-2 地域における子どものスポーツ機会の確保と体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの体力向上事業の実施 ● 地域におけるスポーツ大会の実施
1-3 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 幅広い年代に向けた運動プログラムの実施 ● シニアスポーツの振興 ● ニュースポーツ等の普及・啓発
1-4 障害の有無にかかわらずスポーツ振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害当事者の運動機会の創出・定着に向けた取組の実施 ● パラスポーツの普及・啓発 ● デフリンピックを契機とした取組の推進
1-5 スポーツの支え手の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツを支える団体等の育成・支援 ● スポーツボランティアの育成と活動の促進
2-1 スポーツ施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ施設の維持保全・計画的な改修
2-2 スポーツ施設の効率的かつ効果的な維持管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設管理における効率的かつ効果的な維持管理・運営の検討 ● スポーツ施設の再配置の検討
2-3 スポーツに取り組むための場の確保・充実	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ施設を活用した地域スポーツの場の確保と支援 ● 東京都や民間のスポーツ施設、学校施設等の活用
2-4 地域スポーツ指導者の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導者育成に向けた取組の充実 ● スポーツ指導員派遣事業の充実 ● 部活動地域連携・地域移行への対応
2-5 スポーツに関する情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 市ホームページ等でのスポーツ情報の充実 ● SNS等を活用した情報発信の充実 ● スポーツや健康に関する普及啓発
3-1 地域ゆかりのアスリートの支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 調布市ゆかりのアスリートの応援 ● 次代を担うスポーツ選手の発掘・支援
3-2 トップスポーツチーム等との連携によるスポーツ振興等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● トップアスリートとの交流機会の創出 ● トップスポーツの観戦・応援機会の創出 ● トップスポーツチーム等とのパートナーシップの強化
3-3 多摩地域の一大スポーツ拠点を活用したスポーツ振興等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模スポーツイベント等の開催支援 ● 大規模スポーツイベント等と連携した地域振興の促進
3-4 大規模スポーツイベントのレガシーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模スポーツイベントを契機とした多様な主体とのパートナーシップの活用・発展 ● 他分野間連携の推進 ● パラリンピックレガシーである「パラハートちょうふ」の取組推進



推進体制

- 本計画に掲げる取組は、市が牽引役となり、調布市スポーツ推進委員会や調布市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブである調和SHC倶楽部などのスポーツ関係団体、トップスポーツチーム、民間事業者、大学等、様々な主体との連携・協働によって推進します。



進行管理

- 本計画の着実な推進に向けては、上位計画である調布市基本計画に掲げるスポーツ施策に基づき展開するものとします。また、行革プラン2023や調布市公共施設マネジメント計画に基づき、スポーツ施設の整備やスポーツ施設利用者の利用環境向上に取り組むものとします。
- 各基本目標に掲げるKPI(成果指標)の推移については、スポーツ振興課が取りまとめ、スポーツ推進審議会を活用して定期的に進捗報告等を行うものとします。
- こうした取組の実施状況の確認を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行っていくことで、PDCAサイクルを活用した計画推進に取り組んでいくこととします。

